

一宮西高校同窓会報

発行 愛知県立 一宮西高等学校 同窓会

平成二年度同窓会 総会を前にして

同窓会書記 浅野良二



同窓会会員の皆様方におかれましては、それぞれの職

場、家庭、あるいは進学先において健やかに過ごしてのことと拝察いたします。日頃は本同窓会の発展のためにお力添えをいただきまして、深く感謝申し上げます。一宮西高校は今年で創立27周年目を迎えています。昭和58年の「創立20周年」

新たな伝統の 継承をめざして

校長 新屋哲夫



林校長のご勇退で九人目の校長です。第四代杉浦一守校長、第六代植木敬一郎校長には、若い頃、明和高校時代にご指導を受け、また歴代校長先生には県教育委員会に在籍時代からご厚誼を受けていましたので本校を興味深く注目していました。着任は誠に光栄のいたりです。

去る一月、体力づくり県優秀校として県教育委員会に表彰を受けましたが、審査員の一人として、生徒の体力・運動能力の平均が抜群に秀れ、且つ総合体育大会に尾張地区二年連続優勝と学校の部活動活性化が強く印象に残り一票を投じた記憶があります。三月は、東京大、京都大、地元名古屋大学を始め南山大など県下屈指の進学校として名を連ね、まさに文武両道の学校として全国レベルの学校に君臨していま

の年から本格的な同窓会活動が始り、毎年の総会の開催と会報の発行、そしてそのための組織づくりが推し進められてきました。その点で本同窓会の歴史はまだまだ浅いと言えます。

私は組織づくりの一環として事務局の山内先生から昭和60年に常任幹事(全日制6回生)を依頼されました。そして昭和63年、同窓会会則改正に伴い、書記に推され総会で正式に選出されました。さて、私が昭和60年以來今日まで、西高の同窓会活動に関わってきても思うのは総会への出席者があまりにも少ないという事と、さらには、総会前に行われる幹事会への出席者が少なく、そのためほとんどの運営が事務局まかせという現況です。まだ組織が新しく、未熟で力不足なため、やむをえないことでしょうか、全体として盛り上りを欠くことは否めま

せん。3年後の平成5年度には30周年をむかえます。同窓会としては記念事業を計画しています。そして30周年を機に総会の運営を特定の卒業回にお任せしようという動きもあります。30周年にむけて、若い力を結集し、同窓会を盛り上げていく必要があります。そのためには個々の会員の皆様により積極的な姿勢で同窓会に協力して頂きますようお願い申し上げます。

世代の諸君も無限の能力をもつ時代である。部活動に勉強に寸暇を惜しむ努力をせよ。勝つ目標に向かって団結し、汗を流す。目標があれば練習に熱が入り最大限の努力をする。試合に勝った時の喜びと感動を友と味う体験は青年期には特に大切である。

同じことが学習活動にも言える。進路の目標を達成するために成果をあげねば、先生も生徒も、父母も気分的に落ちこみ、学校の雰囲気も盛りあがらないし、活力に満ちた生徒諸君の高校生活も期待できない。

故に「進路指導イコール受験教育は学校教育ではない」という説があるが、合格する、つまり勝負に勝つことは大切なことである。

生徒の瞳は輝いていました。確かな手ごたえを生徒から感じ、充実感を味った第一声でした。最後に同窓会各位の御健勝をお祈りします。

総会のお知らせ

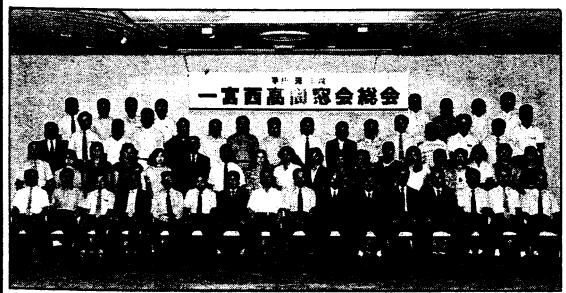
同窓会総会を左記の要領で実施いたします。多数の御出席を心待ちにいたしております。

日時 八月五日(日) 十二時 総会 十三時 懇親会

場所 真清田神社 参集殿

会費 二千円写真代を含む

※なお、準備の都合上、出欠席の葉書を七月二十五日迄にお出し下さるようお願いいたします。



昨年度の総会